

事務事業名	地域コミュニティイベント支援事業(甲州風上げまつり) ☐ 実施計画事業		所属部局	市民部		単位番号	4151					
			所属課室	甲西窓口サービスセンター		課長名	塩田保朗					
			所属担当			担当者名	米山すず子					
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政 策		02	地域ネットワークの充実		事業区分	01	一般	02	01	12	020	09
施策		03	地域コミュニティ活動への支援			☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☒ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度) ~ (年度)	法令根拠	南アルプス市補助金等交付規則									
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 地域のイベントとして旧甲西町時代から実施してきた。風上げを通じて地域コミュニティの推進を図る。区長会・風の会を中心に実行委員会が作られたので、これからは、話し合いを重ねていき地域イベントとして充実したイベントを目指す。					事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)						
	項目(細節)					金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)		
	負担金補助及び交付金					1,840						
								計		1,840		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	地域コミュニティイベントとしての組織作りと参加者の増加を目指す。
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
① 市民 ② 実行委員会	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
① 参加者自身が作成した風を上げることで伝統ある甲州風を理解してもらう ② 地域のイベントとして地域の一体感を醸成していく。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
地域のイベントを通して、地域の伝統文化を伝承していく。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 参加者数	人
イ 風作りキットの配布個数	個
ウ 実行委員会	人
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 南アルプス市人口	人
イ 風づくり講師	人
ウ 実行委員会	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 出品数	個
イ 参加者数	人
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 風の会会員数	人
イ 参加者の満足度	%

(2) 事業費・指標の推移			単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	201	1,840	1,798	1,798				
	人件費	事業費計 (A)	千円	201	1,840	1,798	1,798	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2				
		延べ業務時間	時間	720	720	720	720				
		人件費計 (B)	千円	2,853	2,853	2,853	2,853	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	3,054	4,693	4,651	4,651	0	0	0	0
活動指標	ア	人		700.0		400.0	400.0				
	イ	個		56.0		141.0	60.0				
	ウ	人		50.0		65.0	50.0				
対象指標	ア	人		73,100.0		73,100.0	73,100.0				
	イ	人				14.0	14.0				
	ウ	人		65.0		65.0	50.0				
成果指標	ア	個				117.0	100.0				
	イ	人				700.0	1,200.0				
	ウ										
上位成果指標	ア	人				17.0	17.0				
	イ	%									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	旧甲西町の時代から開催されているイベントで参加者は、地区保育所、各地区、愛好会等の団体も参加し、風上げを行い競い合いながら1日を楽しむことを目的としている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	平成21年度より地域のイベントとして実行委員会をつくり実行委員会が主催するイベントとなった。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	甲西地区のイベントとして残していかなければならない。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	地域のイベントとして区長会・風の会を中心に実行委員会をつくり話し合いが行われている。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	平成23年度は東日本大震災により中止した。平成24年度開催に向けて区長会・風の会のグループが中心となり準備を進めた。子供クラブへの呼びかけも行った

事務事業名	地域コミュニティイベント支援事業(甲州風上げまつり)	所属部	市民部	所属課	甲西窓口サービスセンター
-------	----------------------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 地域コミュニティのイベントとしては、子どもから高齢者まで参加する事により充実している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 妥当である ⇒【理由↓】 イベントの話し合いをしていく中で、市民と協働でイベントをする事により参加者が増加し、内容も豊かになると思う。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 地域コミュニティのイベントを通して地域の親睦を図り甲州風を伝承していくことで地域の活性化にも繋がっていく。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由↓】 地域コミュニティのイベントとして行政が関与する割合を減らしていく
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 甲州風の伝承の機会が無くなってしまい途絶えてしまう。又地区のイベントもなくなってしまう。 ☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域コミュニティで事業が出来ないであれば休止となってしまう。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由↓】 地域住民が主体となることで補助金の削減が見込まれる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由↓】 職員が関与してきた人件費は削減される。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 甲西地区のイベントとして行っているが参加者は、地元はもちろんのこと市内からも多くの人達が参加している。風の愛好家の人は県外からも参加している。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	甲州風の伝承を伝えるためにも、今後は行政に頼らず完全に実行委員会への移行を行い実行委員会のみで運営、開催が出来るようにし、参加者も地元のみではなく、市外からの参加者を増やすようにPRを行う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☒ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☒	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☒	☐	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について ①区長会・風の会を中心とした実行委員会の充実 ② ③		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr></table>		成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																							
コスト削減優先度評価結果	対象外																							
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①区長会・風の会を中心とした実行委員会ですらに話し合いをしていく。 ③																								